

## 第 48 回 沖縄平和行進活動報告書

全港湾東北地方塩釜支部 幹事 大宮晴翔

私は今回初めて沖縄平和行進に参加しました。

初日の結団式では全国の方々と顔を合わせました。2月の青対にいたメンバーもちらほらいたので、互いに再会を喜び、それを通じてさらに横の繋がりを広げることができました。

2日目は朝から夕方まで基地の周りを行進しました。全港湾以外の団体も合わせるとかかなりの人数が参加しており団結することの素晴らしさを感じました。途中手を振ってくれた地元の方々には力をもらいました。最後の方は声もかすれてきて足も痛くなりました。けれどこの足の痛みが基地の大ききなのだなと身をもって感じました。参加前はなぜ基地があるのがいけないことなのか分かりませんでした。ですが行進後の県民大会で地元の方々のリアルな声を聞き、アメリカ人による犯罪や米軍の航空機からの落下物など。問題がたくさんあることを知りました。ですが決してアメリカ人が悪いのではなく1番の悪は戦争であるという言葉で、基地問題は複雑で難しいなど感じました。

3日目はひめゆりの塔や戦跡等の視察で、沖縄の歴史、戦争の悲惨さを知り、学生時代は学ぶことができなかつた生々しい生存者の資料を読んでとても衝撃を受けました。そしてこの国を二度と戦場にはさせないぞと強く思いました。そのために、これからの日本を支えていく私たちにはどんなことができるのか。また3日間を通して学んだことを今回参加できなかった支部の仲間たちに伝えて次の活動に繋げていきます。また機会があればぜひ参加したいと思います。